
MELSEC-Q シリーズ対応 パソコンCPUユニット専用 CD-ROMドライブ PPC-CDD-01 取扱説明書



このたびは、パソコンCPUユニット専用CD-ROMドライブをご購入いただきまして、ありがとうございます。本取扱説明書の手順にしたがって、ご使用くださいますようお願いいたします。

注意

- ・ 本書の内容の全部、または一部を無断で転載することは禁止されています。
 - ・ 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
 - ・ 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店へご連絡ください。
 - ・ 本製品の運用を理由とする損失、逸失利益などの請求につきましては、前項に関わらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - ・ MELSEC、CC-Linkは三菱電機(株)の登録商標です。
その他、本書中に使用している会社名および製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。
-

概要

- ・ 本CD-ROMドライブは、三菱電機株式会社製MELSEC-Qシリーズ対応パソコンCPUユニット(PPC-CPU686(MS))専用のCD-ROMドライブです。
- ・ 本CD-ROMドライブを使用したシステム構成および接続方法につきましては、PPC-CPU686(MS)ユーザーズマニュアルを参照ください。

商品構成

- ・ 本体...1
- ・ 取扱説明書(本書)...1
- ・ IDEケーブル...1(40cm)
- ・ ACケーブル...1
- ・ CD-ROMドライブ添付品...一式
- ・ ユーザー登録カード&保証書...1
- ・ ユーザー登録カード返信用封筒...1
- ・ Question用紙...1

仕様

機能仕様

項目	仕様
バスインターフェイス	IDE
ケーブル	40ピン専用ケーブル、ケーブル長40cm
対応フォーマット	CD-DA、Video-CD、Photo-CD、CD-Extra、CD-G、CD-I、CD-TEXT
対応ディスク	CD-ROM、CD-R、CD-RW *1
最大データ転送速度	33.3MB/sec(Ultra DMA モード2)
最大読み出し速度	7,200KB/sec(CD-ROM)
平均ランダムアクセスタイム	78msec
データバッファサイズ	128KB
マスタ/スレーブ切り換え	スイッチ操作切り換え
冷却	背面ファン
外形寸法(mm)	217(W)×282(D)×60(H) (突起等を除く)
電源	90 ~ 260VAC(連続入力) 50/60Hz
消費電力	40W(Max.)
質量	2.4kg

*1 再生のみ。CD-R、CD-RWへの書き込み機能はありません。

一般仕様

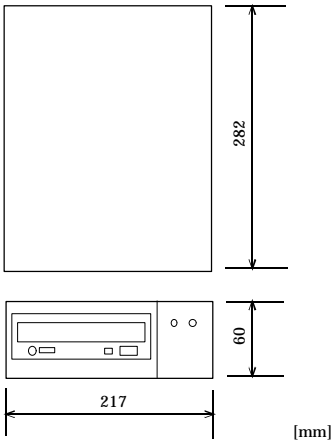
項目	仕様
使用周囲温度	5 ~ 35
保存周囲温度	-10 ~ 60
使用周囲湿度	8 ~ 80%RH (ただし、結露しないこと)
保存周囲湿度	5 ~ 95%RH (ただし、結露しないこと)
耐振動(1オクターブ/分)	<p>【動作時】 ハードエラーがないこと 5 ~ 500Hz、2.45m/s^2(0-Peak)、0.25G</p> <p>【非動作時】 損傷がないこと 5 ~ 10Hz、5mm(Peak-Peak) 10 ~ 500Hz、9.8m/s^2(0-Peak)、1G</p>
耐衝撃	<p>【動作時】 (11ms正弦半波/10秒間隔) ハードエラーがないこと 14.7m/s^2、1.5G(水平設置) 7.8m/s^2、0.8G(垂直設置) データ読み出しが継続できること 98m/s^2、10G</p> <p>【非動作時-CD非ロード時】 (11ms正弦半波) 損傷がないこと 490m/s^2、50G</p>
使用雰囲気	腐食性ガスのないこと
使用標高	2000m以下 *2
汚染度 *1	2以下
ドライブ寿命	15,000時間または、5年のうち早い方
トレイロード/イジェクト	10,000回
設置条件	水平に対し、 $\pm 20^\circ$ 以内、垂直に対し、 $\pm 10^\circ$ 以内

*1 その機器が使用される環境における導電性物質の発生度合いを示す指標。

汚染度2は、非導電性の汚染しか発生しない。ただし、たまたまの凝結により、一時的な導通が起こりうる環境。

*2 標高0m付近で発生しうる大気圧以上に加圧した環境下では、故障する可能性があり、使用できません。

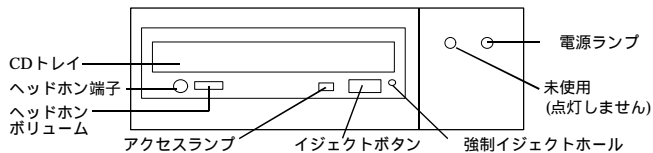
外形寸法



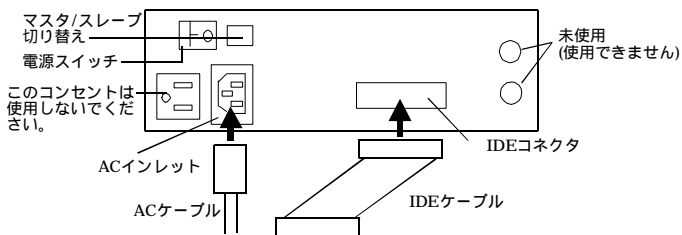
各部の機能

各部の名称

前面



背面



各部の機能

番号	名称	機能
	CDトレイ	CD-ROMをセットします。
	強制イジェクトホール	イジェクトボタンを押してもCDトレイが出てこない場合の強制イジェクトです。
	イジェクトボタン	CDトレイを出し入れします。
	アクセスランプ	データ読み出し時に点灯します。
	電源ランプ	本CD-ROMドライブにAC電源が供給されており、AC電源スイッチONの時、点灯します。
	ヘッドフォン端子	音楽CD使用時のみ有効です。
	ヘッドフォンボリューム	音楽CD使用時のみ有効です。
	電源スイッチ	- 側：ON 側：OFF
	マスタ/スレーブ切り替え	ドライブのマスタ/スレーブを設定します。 1：マスタ 2：スレーブ 0、3～6：設定禁止 左右のボタンを押して切り替えます。
	IDEコネクタ	添付のIDEケーブルを接続します。
	ACインレット	添付のACケーブルを接続します。

⚠ 注意

- 電源を投入する際には、本CD-ROMドライブの電源を投入後、パソコンCPUユニットの電源を投入してください。
- パソコンCPUユニットに本CD-ROMドライブを接続する場合、本CD-ROMドライブの電源を切断した状態ではパソコンCPUユニットは正常に動作しません。本CD-ROMの電源を切断した状態でパソコンCPUユニットをご使用になる場合、IDEケーブルを外した状態でパソコンCPUユニットをご使用ください。
- マスタ/スレーブ設定変更やケーブルの抜き差しは、必ず本CD-ROMドライブおよびパソコンCPUユニットの電源がOFFであることを確認して行ってください。通電中に行いますと誤動作や故障の原因になります。
- 強制イジェクトにてディスクを取り出す場合、まず本CD-ROMドライブの電源をOFFにして1分以上経過後、クリップなどの先の細いものを強制イジェクトホールに差し込み、取り出してください。
- ディスクユニットとマスタ/スレーブ構成にする場合、ディスクユニットのIDE I/FコネクタとパソコンCPUユニットを、ディスクユニットの拡張IDE I/Fコネクタと本CD-ROMドライブのIDEコネクタをそれぞれIDEケーブルで接続し、マスタ/スレーブ切り替えスイッチでマスタ/スレーブを設定してください。

IDEインターフェイス

添付のIDEケーブルを使用し、パソコンCPU底面または、ディスクユニット前面のIDEコネクタに接続します。システム構成や接続方法につきましては、パソコンCPUユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

IDEコネクタ

使用コネクタ		ハーフピッチ40ピンコネクタ(1.27mmピッチ)			
ピン番号	信号名	方向	ピン番号	信号名	方向
1	RESET#	出力	21	GND	
2	DD7	入出力	22	DD8	入出力
3	DD6	入出力	23	DD9	入出力
4	DD5	入出力	24	DD10	入出力
5	DD4	入出力	25	DD11	入出力
6	DD3	入出力	26	DD12	入出力
7	DD2	入出力	27	DD13	入出力
8	DD1	入出力	28	DD14	入出力
9	DD0	入出力	29	DD15	入出力
10	GND		30	N.C.	
11	DDRQ	入力	31	GND	
12	DIOW#	出力	32	GND	
13	DIOR#	出力	33	GND	
14	IOCHRDY#	入力	34	DALE	出力
15	DDACK#	出力	35	GND	
16	INTRQ	入力	36	Reserve	
17	DA1	出力	37	Reserve	
18	DA0	出力	38	DA2	出力
19	CSI#	出力	39	CS3#	出力
20	DACT#	出力	40	GND	

A-46-494
LZU7971
[010417]